

4. 千葉港による経済波及効果

千葉港が存在することにより、千葉港に関わる企業が商品やサービスを購入したり、千葉港を通じて海外への輸出や県外への移出を行ったりするなど、さまざまな需要が生み出されます。そうした需要が、関連する産業の生産を喚起し、その産業による資材やサービスの購入が、さらに他産業の生産を喚起するなど、効果が波及していきます。

千葉港の関連産業によってもたらされる千葉県への経済波及効果は年間約 8.4 兆円と推計されました。これは、県内の産出額の約 2 割を占めることとなり、千葉港が県内経済において大きな役割を担っていることを示しています。また、雇用創出効果は約 18 万人と推計され、県内の従業者数の約 1 割を占めます。

さらに、取扱貨物量が将来目標に到達すれば、その伸びに応じて経済波及効果も大きくなり、その効果は年間約 9.0 兆円 (+7%)、雇用創出効果は約 21 万人 (+17%) と推計されました。

	現在	長期構想 目標年次 (H59)
経済波及効果額	8.4兆円/年	9.0兆円/年
雇用創出効果	18万人	21万人

経済波及効果：年間約6,000億円（7%）の増加
雇用創出効果：約3万人（17%）の増加

図 4-1-1 経済波及効果推計結果